

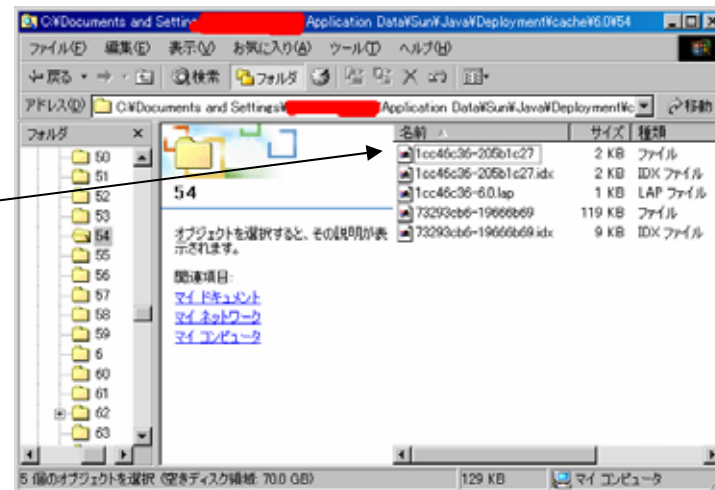
Java WebStartでアプリの実行ファイルはどこに格納されるのか

Windowsでは基本的には"C:\Program files"の中に、実行ファイルが格納されますが、Java WebStartは違います。置き場所はアマテルのショートカットのプロパティを見ればわかります。

例:

C:\Documents and Settings\<ユーザ名>\Application Data\Sun\Java\Deployment\cache\6.0\54\1cc46c36-205b1c27

ですがJWSが独自のフォーマットで格納する仕組みになっており、ユーザがこれらのファイルを直接さわることはできません。せいぜい「" ~ \Deployment\cache\ ~ "の中に格納されている」というぐらいしか言えないです。キャッシュフォルダの中身をよくわからずにいじると、面倒なトラブルが起きる可能性が非常に高いので、インストールとアンインストールは、Javaコントロールパネルで行ってください。



JWSのコントロールパネル……全アンインストール

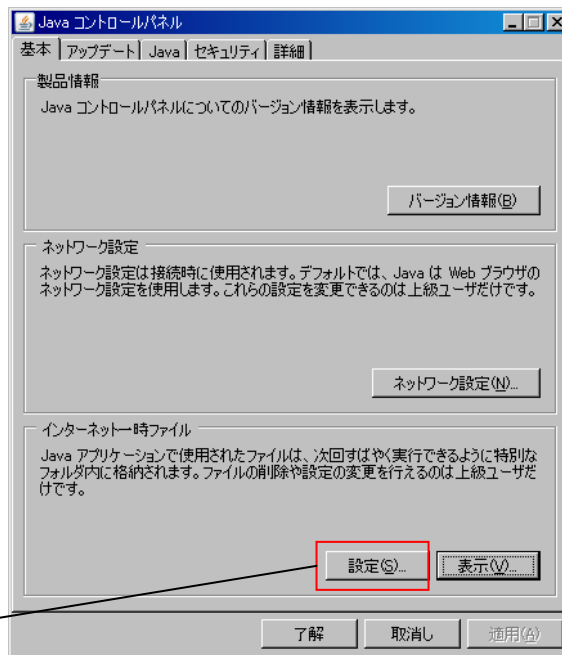
前述のキャッシュフォルダの場所は、Javaコントロールパネルから変更できます。

Winの場合、「コントロールパネル Java」を選択すると、Javaコントロールパネルが開きます。

アマテルはWinの「アプリケーションの追加と削除」からもアンインストールできますが、Javaコントロールパネルからも削除できます。

キャッシュ保管場所の変更

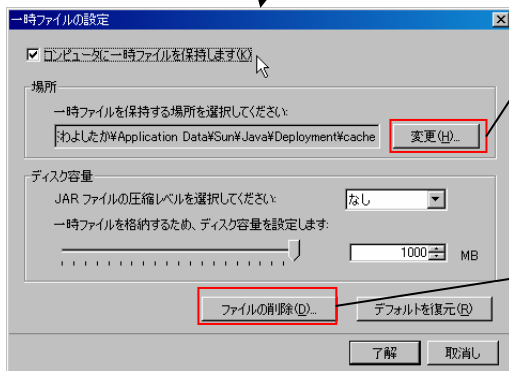
「基本」タブを選択し「設定」ボタンを押すと「一時ファイルの設定」ダイアログが開きます。



「場所」の項目は、キャッシュ保管場所を変更できます。しかし変更不要でしょう。

キャッシュの消去

「ファイルの削除」を押すと、削除対象となるデータの選択を促され、このとき「アプリケーションとアプレット」にチェックが入っている場合は、JWSでインストールしたすべてのアプリが消去されます。



キャッシュの消去とアマテルの関連

アマテルにとって重要な設定ファイルやデータファイルは、キャッシュフォルダの中には入っていません。それは ".Amateru" というフォルダに入っています。

格納場所

C:\¥Documents and Settings¥<username>¥.Amateru

これはJavaコントロールパネルからアマテルをアンインストールしても削除されずに残ります。だからアマテルを再インストールすれば、アマテル内で使っていたデータや設定情報は元の状態に復元されます。だから動作面で怪しいと思ったときは、ためらわずアンインストール&再インストールして良いのです。

JWSのコントロールパネル……個別にアンインストール

前述の「ファイルの削除」は、インストールされているすべてのJWSアプリをアンインストールしますが、個別に削除することもできます。

「表示」ボタンを押すと、キャッシュビューワーが開きます。削除したいアプリを選び、「×」ボタンを押すと削除されます。

キャッシュ機能が悪さをして、アマテルがうまく更新されない時があるようです。

そういうときはアプリを個別に削除するよりも、丸ごと消してしまうほうが確実です。

